



WE, JOKERS

英語のジョークを楽しむ会会報

No.13 April 10, 2009

- ジョークの心得三か条:
1. ジョークは心のゆとりであり、人生の潤滑油です。
 2. ジョークで言語の壁に挑むのは知的快感です。
 3. ジョークは簡潔が至上です。

ジョークと私

痛恨、ブッシュ大統領退任

宮本 倫好



「ブッシュが退任して宮本は落ち込んでいるに違いない」と、わが *We, Jokers* 誌の名編集長・佐川光徳氏は賢明にも判断したようで、その惜別の辞を私に書けと要望してきました。こうして私は、コケにする種を失い、大いに嘆き悲しんだという、ニューヨークの寄席芸人一派と見られる榮譽に浴したのです。

確かに畏れ多くも世界一の権力者・米国大統領を、CIAの探査も及ばないのを良いことに、私はしばしば小遣いの種にしました。ある雑誌のジョーク連載で、頻繁に彼をネタにしたばかりか、講演などでも彼で大いに笑いを取りました。だから米国民が憲法を改正して、もう一期ブッシュ氏に大統領職を続けさせて欲しかったのです。でも、それでは世界が更に滅茶苦茶になっていたかも。

彼はジョーク・ネタにされる条件が揃っていました。第一に権門の生まれです。ブッシュ家はその先祖が英国王ヘンリー三世に遡るとい名門中の名門で、祖父は金融業の後上院議員を務め、父親はご存知の通り元大統領。名士の子弟が行くエール大学で父親同様、これも名門が条件の秘密結社「スカル・アンド・ボーンズ」の会員になりました。

第二に、頭が軽く、口も軽いので、とんでもないことを口走ります。文法無視、新語創作などお手の物で、**Bushism** (ブッシュ語) として評判を呼びました。例えば、**misunderestimate** = **mis-understand** + **underestimate** です。

You teach a child to read and he or *her* will be able to pass a literary test. といったものなど、枚挙にいとまがありません。

三番目は、イラク戦争、金融危機といった外交、内政上の大失敗です。以上の三つの条件は、どこかの首相もそっくりですね。

大体ジャーナリストや寄席芸人という連中は、へそ曲がりな上に、エーシ(良家)のボンやお嬢というのは少ないので、こういう恵まれたバカが権力を握ったりすると、舌なめずりをしながらこき下ろします。それが民主主義のあり難さで、権力のバランスがうまく取れ、民衆にカタルシスを与えるのです。

三人の外科医が腕自慢をしています。一人が事故に遭った名ピアニストの指を見事に再生し、いま一人は両手、両足を失った運動選手を手術で復活させたと誇ります。三人目は「私の成果に比べたら素人芸だ」と二人をあざ笑い、次のように自慢しました。

“A cowboy who was high on the cocaine and alcohol rode a horse head-on into a train. All I had left to work with was the horse’s ass and a cowboy hat. Later he became President of the United States.”

ブッシュが若い頃、麻薬やアルコールに淫していたことは有名ですが、列車の事故後の手術で、馬とカウボーイの残骸を多く使って再生されたのですから、まともである訳がない。

イラクで記者に靴を投げつけられた時、咄嗟に「あれは12文の靴だった」とコメントしたあたり、彼自身ユーモア・センスの持ち主だったのが、ジョーク・ファンには救いでした。ブッシュさん、お元気で！

⇒靴投げゲームの主人公として今も絶大な人気を誇るブッシュ前大統領。



第 13 回研究発表会

Tell Me What's Funny

岡田 茂富

“Tell Me What's Funny” は、英語のジョークの世界に入門したてのわたし、そのわたしの本音でございます。と申しますのは、わたしにわからなかったジョークをひとつ皆様に披露して、皆様のお考えをお聞きかせいただければこんなに素敵なことはない、と考えたからでございます。それに自作のジョークを少し、クイズを少し、面白そうなジョークをいくらか混ぜて、まあ、楽しみながらハンドアウトを作ったのでございます。

世界の偉人を担ぎ出し、ペダンチックに見せるのは、Con Man の常套手段ではないか、とおっしゃるのですか。まことに鋭い指摘でございます。ご用心召され、“It's a kind of joke.” とお答えしなければならぬものもあるかもしれませんものですから。

福田恆存の戯曲「解ってたまるか」を加藤敬二主演で劇団四季が上演した DVD が、つい先日アマゾンから届きました。もちろん、内容は解ることを拒否しておりますので、ここでへたなことを申し上げないほうがよろしいかと存じます。加藤敬二はわたしと同じく石川県金沢市の生まれで、両親は奇術師だったのございますね。ダンスも達者なのでミュージカルで活躍しているそうでございます。

やはり、一人だけで考えるより、他の人のお考えやご意見を聞くものでございますね。お陰で、自分ではわからなかったジョークのいくつかがわかりましたし、読みが浅いものがあったこともわかりました。

お世話役の佐川様から、他の皆様にもわたしが発表したジョークについて解説したほうがいいとお勧めがありましたので、そのときにわかったものを除き、わたしにわかるところだけ以下に試みましょう。

(3) Quotes Quiz の答え :

(A)(ニ)⑤, (B)(ロ)④, (C)(イ)②, (D)(へ)⑨, (E)(チ)⑥, (F)(リ)⑦, (G)(ハ)⑧, (H)(ヌ)③, (I)(ト)①, (J)(ホ)⑩

(5) drink it 大いに飲む。all in すべて込みで。文脈からはプールの水を全部飲みながら、とも読める。

(20) 目薬が off the shelf=在庫している。目玉が棚から落ちる。

(25) “I Can't Believe It's Not Butter, Can You?” という Becel のマーガリンの広告文に対するチャック・ノリスの答えです。

(32) Your clothes speak loudly. 着ている着物で人柄がよくわかる。アメリカ人の服装が何ともひどいと大声を発しているの、大声で話さないと何をしゃべっているのかわかりませんぞ。

(35) You don't have to be a pain, at any time. 不愉快な奴になる必要はない。いかなるときでも(苦痛に悩んでいるときでさえ)。わたしの解釈ですが。

(36) For those of you who are too young to remember, or whatever, this is a play on an old Folgers coffee advertisement that ended with “The best part of waking up is Folgers in your cup.”

“three green army men” は、プラスチック製のこどものおもちゃ。アマゾンで買えますよ。

(42) 年収の違いですかね。

(45) わたしの解釈は、ブロンドの美女が耳の後ろにかかちが行くような格好をすること。うーむ、なかなか卑猥な格好ですね。

(46) 畑の真ん中を車で運転しているのだから、目の錯覚を信じてブロンドが泳げないのでと毒づくのは、浅はかなことはわかるのですが、なぜともろこし畑でボート漕いでいるように見えるのか? よくわかりませんね。

(47) レストランのメニューから好きな料理を選ぶのではなく、メニュー全部でOKというのだから、肥るはず。

最後に、関心をもってわたしのつたない発表を聴いていただいた方々に心より感謝申し上げます次第でございます。

★ハンドアウトをご希望の方は編集人までご連絡ください。

第 13 回研究発表会

第 1 回ジョーク・バトル始末記

安藤 雅彦

(初代痴遊亭区路州)

1. 準備

浦さんのアイデアを、チーフ・プロデューサーの佐川さんが実行可能なプランに展開。

【ルール 1】 各チーム 3 名の 2 チームが、ジョークの部門にそって 9 回戦を行う。各回、各チームはジョークを一つずつ提出する

【ルール 2】 ジャッジは提出者と司会を除く参加者全員で、各回に提出された一対のジョークの、どちらがより面白いかを決める。この判定を 9 回繰り返す。

【ルール 3】 ジャッジと提出者間の情実・贈収賄・癒着(?)を防ぐために、提出者の名前は公表しない。このため両チームの 6 名は、提出したジョークについて解説・コメントすることは厳禁。あくまでもジャッジ間の討議に任せ、提出側は反論や弁護や補足をしない。

2. 実行

豊田 (キャプテン) + 新堂 + 浦の紅組と、宮本 (キャプテン) + 植田 + 佐川の白組が対決。ジョークをイラスト付でスクリーン上に提示。(パワーポイントのファイルは、植田さんと佐川さんの苦心の合作)。

5 対 4 で紅組がよく激戦を制した。本戦終了後、ここで全 18 ジョークを記載したハードコピーを植田さんが配布。Best Joke 賞の投票に移り、白組の宮本キャプテンが栄光に輝く。本会会長名でだされた「表笑状」と超豪華記念品を本人が受け取るという、いかにもチグハグな、本会らしいジョーク的な結果となり、喜ばしい限り。なお受賞作は pub 部門 (艶笑物あるいは相原物) で：

An old lady who never married specified in her will that her tombstone say, "Born a virgin, lived a virgin, died a virgin."

That was too many words to put on the stone so they just wrote,

"Returned unopened."

判定前に深澤さんをはじめ数人から、パンチラインの "Returned unopened" は露骨過ぎるとのコメントあり。

ここで、発言を許されていないはずの、白組の宮本キャプテンが、主任弁護人としてやおら発言。「これは米国の通信販売などで標準的に使われる表現、returned unopened = 未開封返品で、これを使ったところがこのジョークのミソだ。だからこそ面白い！」と強調し、全く悪びれずに堂々たる営業活動を展開した。

この販促 (反則!) に、司会の A 君は茫然自失で、レッド・カードを出すのも忘れた様子。さらに服部さんが中古カメラ (あくまでもカメラですぞ) にはいくつかの等級があり、ベストが returned unopened で、ワーストが junk であるとのタイムリーな証言。

3. 発展

みなさんのご提案を踏まえ、より楽しい企画に発展させたいですね。

【提案 1】 上記ルール 3 により、提出者はジャッジのコメントを聞くだけで、反論や補足を行うことが出来ず、欲求不満が貯まった。そのうえ司会の A 君の根も葉もない口からデマカセにも黙って耐ねばならず、これはほとんど拷問状態だった。そこでルール 3 を廃止し、提出者の解説・宣伝・営業活動を許す。

【提案 2】 判定を、提出者による営業前と営業後の 2 回行う before & after 方式を土屋さんが提案。ジョークの提出者としては即笑える「単純明解型」、例えば白組の one liner 部門の、

Husband to wife: How do you expect me to remember your birthday when you never look any older? か、即ピーンとは来ないが解説を聞くと感心して笑える「アソー型」、例えば、紅組の political 部門の、

Too bad all the people who know how to run the country are busy driving cabs and cutting hair. ⇒p.4

かどちらで勝負するか迷うところなので、公平を期すために2回判定する。

[提案3] ジョークの部門の壁を取り払い、出題をしやすくする。

[提案4] 岡田さんよりメールで:多くの会員を巻き込むためには、参加する全員が事前に好きなジョークを一つずつ提出し、例会でみんながスライドで見ながら、笑いのつぼについて語り合い、最後に順位を三位まで決めるのはどうでしょうか。

★第1回ジョーク・バトルの出題作と得票数は、JOKE BATTLE SUPPLEMENTに掲載されています。

素晴らしいかな! 後期高齢: 米国編
エンジン付き車椅子レース



写真提供=Workshop Group, N.Y.

[大塚英語教育研究会で安藤雅彦会員が講演]

日時: 5月9日(土) 午後3時30分より
演題: JIE: Jokes in Education
会場: 筑波大学附属学校教育局 第1会議室
(地下鉄丸ノ内線茗荷谷駅下車徒歩3分)
会費: 500円 (ふるってご参加ください。)

WEST & EAST WORD SQUARES

G	A	M	E
A	C	I	D
M	I	L	D
E	D	D	Y

あ	し	も	と
し	ん	み	り
も	み	あ	い
と	り	い	る

第14回研究発表会のご案内

会員各位のご参加をお待ちします。まだ会員になっておられない方もどうぞ。

- 日時: 5月16日(土) 午後2時-4時
- 会場: 平河町 Mercury Room (クオリティ株式会社8階会議室)
(東京都千代田区平河町1-4-5 平和第一ビル)
- 交通: 地下鉄・有楽町線麴町駅1番出口より徒歩2分。詳しくは、
<http://www.quality.co.jp/> で。
- 発表者:
花岡 蔚
「Stand-up comedy の研究」
- 第2回ジョーク・バトル
紅組-豊田一男・服部陽一・濱屋徳郎
白組-宮本倫好・長谷川真弓・相原悦夫
司会-安藤雅彦
- 参加費: 会員・非会員とも500円
- 研究発表会終了後、近くの喫茶店で交流会を開きます。
- 問合せ先: renraku@eigojoker.com

[その後の研究発表会の予定]

7月18日(土)、9月19日(土)、11月21日(土)、
2010年1月16日(土)、3月20日(土)

[編集後記]

ある日の交流会でふと耳にした言葉が忘れられない。
「本会の会員に男性が多いのはなぜ?」「この世でひどく虐げられているのは男性。ジョークでうさでも晴らさなければ、とてもやっちゃいけないのさ」

**WE, JOKERS 英語のジョークを楽しむ会会報
第13号**

発行日: 2009年4月10日
発行人: 世話人代表 宮本倫好
編集人: 佐川光徳
発行所: 英語のジョークを楽しむ会
〒102-0093 東京都千代田区平河町1-4-5
平和第一ビル クオリティ株式会社 気付
TEL:03-5275-6121, FAX:03-5275-6130
問合せ先: renraku@eigojoker.com